

中世の学問観（中世研究 第9号）

上智大学中世思想研究所編

創文社刊 1995年

---



---

【収録論文】

アウグスティヌスと学問——『キリスト教の教え』を中心に 水落健治

ラバヌス・マウルスとその修道院文化 鈴木宣明

ドイツのルペルトゥスとその学問論 J・フィルハウス

コンシュのギョームにおける学問の擁護 大谷啓治

サン＝ヴィクトルのフーゴーにおける学問体系 K・リーゼンフーバー

ドミニクス・グンディサリヌスの学問分類——西洋十二世紀におけるその思想革新の一側面 木下登

ソールズベリのジョンの学問観 甚野尚志

マイモニデスとその『迷える者の手引き』 F・ペレス

ロジャー・ベーコンの学問観 降旗芳彦

トマス・アキナスにおける学問論——『ボエティウス・三位一体論註解』を中心にして 渡部菊郎

スコトゥスとオッカムにおける学問観——神学の学問性をめぐって 小川量子

ジャン・フロアサールの歴史観と心性 橋口倫介

---